

東由利町報

№224の① 昭和50年(1975)7月1日

発行 秋田県東由利町役場 印刷 KKB本間印刷所
毎月1日発行(1部20円)和昭42年7月21日第3種郵便物認可

町の概況	
人口総数	6,618
うち男	3,250
うち女	3,368
世帯数	1,502
面積	148.51

社協へ多額の浄財
法人化の認可を目前に事務室を独立させた町社会福祉協議会へ、このほど本町出身の高橋重雄氏(横浜市長在任)から、本年度初の五万円という多額の浄財が寄せられ関係者を感激させています。

高橋氏はこれまでも町内小中学校へ多額の教材費を寄せられるなど郷里の発展を支援し続けてくれている一人で、第一回町功労者表彰を受賞されています。ありがとうございます。

飲酒運転追放を
七月一日から九月末までの三ヶ月間は飲酒運転追放県民総ぐるみ運動期間です。飲酒運転を根絶しましょう。

町長選挙告示19日
町選挙管理委員会は、任期満了に伴う町長選挙の日程を七月十九日告示、同二十六日投票日と決定しました。



小松町長

今議会は、私の任期中の最終の定例議会であり、過去四年間、議会の各位を始め各団体、町民皆様のご協力に依りまして大過なく過ぎていたいただきましたことに對して、この機会をお借りいたし、深甚なる感謝の意を表す次第であります。

願いますと、昭和四十六年度の当初予算は四億二千七百万円、人口は七千五百十九人です。本年度当初予算は八億八千万円と比較いたしますと二百六十六の増、人口は現在六千六百八十七人です。

7千万円を追加計上

一般予算 補正 6月議会 任期最後の町政報告も

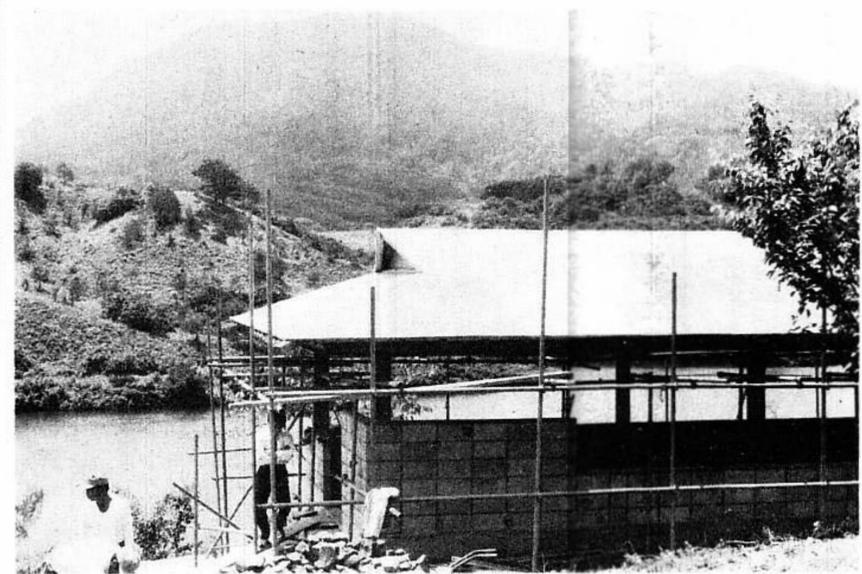
第二回町議会定例会は、六月二十三日役場に招集され、会期を同日限りとして決定した。町長の町政報告及び一般質問、並びに税条例の改正、町一般会計予算の補正などを含む議案七件(いずれも原案可決)陳情五件など合計十五案件の審議を行った。同日午後閉会した。

町政報告は、任期最後の町政報告として、町民の町政報告の中に示した小松町長の将来構想は、漠然として

非課税限度額を拡大
地方税法の改正に伴い、税例の内容を整理したもので、町民と直接関りのある主な事項は、①民税については、老年者や障害者、かたがたの非課税限度額を五十万円から六十万円に拡大して軽減をはかることにした。②均等割が三・二・五〇に、③均等割が三・二・五〇に、④均等割が三・二・五〇に、⑤均等割が三・二・五〇に、⑥均等割が三・二・五〇に、⑦均等割が三・二・五〇に、⑧均等割が三・二・五〇に、⑨均等割が三・二・五〇に、⑩均等割が三・二・五〇に、⑪均等割が三・二・五〇に、⑫均等割が三・二・五〇に、⑬均等割が三・二・五〇に、⑭均等割が三・二・五〇に、⑮均等割が三・二・五〇に、⑯均等割が三・二・五〇に、⑰均等割が三・二・五〇に、⑱均等割が三・二・五〇に、⑲均等割が三・二・五〇に、⑳均等割が三・二・五〇に、㉑均等割が三・二・五〇に、㉒均等割が三・二・五〇に、㉓均等割が三・二・五〇に、㉔均等割が三・二・五〇に、㉕均等割が三・二・五〇に、㉖均等割が三・二・五〇に、㉗均等割が三・二・五〇に、㉘均等割が三・二・五〇に、㉙均等割が三・二・五〇に、㉚均等割が三・二・五〇に、㉛均等割が三・二・五〇に、㉜均等割が三・二・五〇に、㉝均等割が三・二・五〇に、㉞均等割が三・二・五〇に、㉟均等割が三・二・五〇に、㊱均等割が三・二・五〇に、㊲均等割が三・二・五〇に、㊳均等割が三・二・五〇に、㊴均等割が三・二・五〇に、㊵均等割が三・二・五〇に、㊶均等割が三・二・五〇に、㊷均等割が三・二・五〇に、㊸均等割が三・二・五〇に、㊹均等割が三・二・五〇に、㊺均等割が三・二・五〇に、㊻均等割が三・二・五〇に、㊼均等割が三・二・五〇に、㊽均等割が三・二・五〇に、㊾均等割が三・二・五〇に、㊿均等割が三・二・五〇に、

保育所に二千七百万円
車庫建設は五百万円

昭和五十年年度の町一般会計予算の歳入歳出のそれぞれに、七千八百八十六万六千八百八十九円と見込まれて、八塩山、ダム、そして桜が一望のもとに見られる憩いの場を建設する。森を活用した野外レクリエーションと保健体育の場を造成、自然に親しむ生活にうけるおおいを享受する目的で、総額一千九百八十九万七千七百八十九円を投じて、昨年から着工された「この森」が近々に完成すると見込まれていく。



着々進む「この森」
出羽丘陵中の一の八塩山と豊富な水のあるダムを中心とし、二十三・七の森の中には、休憩所、展望台、トイレ等が完備するほか、広場、遊歩道も作られることになっており、完成すると、四季を通じて多くの人たちから利用されると見られていく。

公民館建築など発注
3件で総額1億2,400万円

待望の公民館建設、大正十四年から半世紀を経て老朽化が目立つた玉来小学校体育館の改築、それに法内小学校と統合もあって施設整備が、特別教室の増築事業が、六月十日、総額一億二千四百九十五万五千円で発注された。

公民館建設事業
各事業の発注内訳は次のとおりで、いずれも六月中旬に着工されています。

林道コンクール
征沢線上位入賞

県林業協会(佐藤秀秀会長)主催の昭和五十年年度林道維持管理コンクールで、本町の征沢線が第三位に入賞、このほど開催された定例総会で晴れの表彰に輝きました。

町民各位の支援協力に感謝
町政は一日の停滯も

冬期交通の充実。④県営岡場整備事業の導入。⑤町制の実施。⑥さらには議会の御推進による高校の全日移行、電話の自動化等がござい。議会の皆様を始め町民各位のご協力とご支援に對して、あらためてお礼を申し上げます。町政は一日の停滯も

町勢伸展に一層努力
農業基盤を近代化

まず、産業経済関係から整備事業の導入。①圃場整備事業を一層促進して近代農業の基盤を造り上げる。②機械化後の余剰労働力を集落農機化等の方向により吸収を図ると共に、出稼き対策について積極的に取り組む。③商工業の振興については、内容的に検討する。④林業の振

小学校統合を促進
教育民生につきましましては、

①小学校の統合促進に努力。②社会教育施設の建設を行う。③学校教育、社会教育の内容の向上をはかる。④老人

町民意向を洞察
国県施策を活用

財政の基本姿勢につきましては、内には町民意向の方向を洞察し、外には対応しては時代の動向に、山村・過疎とわかれ地域にあって、過疎を克服し、その条件中の有利性を発見し、それを助長開拓して住民の経済、福祉、文化の向上をはかりたい。

小松係長も表彰に
また十五年

課勤務、小松正志水道係長(前建設係長)も林業功労者として表彰に輝きました。

町政報告
町民各位の支援協力に感謝

町勢伸展に一層努力
農業基盤を近代化

小学校統合を促進
教育民生につきましましては、

町民意向を洞察
国県施策を活用

小松係長も表彰に
また十五年



30人を超す傍聴者の中で審議が行われた6月議会

郷土発展に必要
一般質問

「温泉資源」開発の考えは、

【質問】八ヶ岳を寄せる人たちが多く、聞いているし、そうした人たちと提携し、大きなカケであると思わなければならない。議会の皆様ともよく連携をとり、町外には本町に期待や関心に行きたい。

【答】可能性を信じ、期待を持って生かすことが必要であり、郷土東由利町の発展のためにも必要なことと思っております。協議をとり、町外には本町に期待や関心に行きたい。



五十一年の歴史を閉じ
解体された玉小体育館

事業費総額四二・三・四百万円。完成予定十一月十五日。建設地台山地内(内訳)▼軀体工事三・六百万円▼電気工事七・五百万円▼給排水施設工事七・七百万円▼給排水施設工事九・九百万円▼山二施設。

東由利町報

No. 224の② 昭和50年(1975)7月1日

発行 秋田県東由利町役場 印刷 K K本間印刷所
毎月1日発行(1部20円)昭和42年7月21日第3種郵便物認可

抄録20年の歩み

(30年~50年)
(カッコは月)

【昭和30年】

▶(7) 下郷・玉米両村合併により東由利村誕生。▶(7) 法内小学校全焼。▶(8) 初代村長に梅津千代太郎当選。▶(8) 消防団統合、団長に佐藤昇就任。▶(8) 宿小増築工事完成。▶(10) 蔵小増築工事完成。▶(11) 笹倉林道・黒沢林道完成。▶(11) 収入役に佐藤直蔵就任。

【昭和31年】

▶(1) 助役に小松忠亮就任。▶(3) 法内小学校新築完成。▶(4) 村公民館・同農業共済組合発足。▶(4) 公民館長に小松栄男就任。▶(7) 村議選挙執行(定数22名)議長に佐藤与吉郎就任。▶(9) 法内小体育館完成。▶(10) 教育長に畑山伝治郎就任。

【昭和32年】

▶(3) 大琴簡易水道完成。▶(3) 消防団長に佐々木直三郎就任。▶(7) 農業委員長に阿部直一郎就任。▶(9) 法内小グラウンド新設、台山同幅。▶(10) 教育委員長に小野繁記就任。▶(10) 石高林道完成。▶(12) 玉中グラウンド幅完成。

【昭和33年】

▶(4) 新村建設計画樹立。▶東由利連合青年会発足。▶(5) 永慶保育園開園。▶(10) 国民健康保険事業実施。▶(10) 議会事務局設置。▶(10) 教育長に長谷山千代蔵就任。▶(10) ジャージー導入。▶(11) 館合簡易水道完成。▶(11) 寺庄高下分校創立10周年。

【昭和34年】

▶(1) 役場新庁舎開庁。▶(4) 村森林組合発足。▶(4) 本荘高校下郷分校旧役場庁舎へ移転。▶(6) みどり保育園開園。▶(7) 村長に阿部直一郎当選。▶(10) 国民年金実施納付・給付開始。▶(12) 農協合併促進協議会発足。

【昭和35年】

▶(1) 村獣医採用。▶(2) 家畜診療所開設。▶(3) 玉中増築工事完成。▶(5) 大琴診療所開設。▶(7) 村議会議長に佐藤与吉郎就任。▶(9) 若林の四世帯ラジアルへ移住。▶(10) 教育長に小松忠亮就任。▶(11) 山本町へジャージー1牛移出。

【昭和36年】

▶(3) 長根谷地・林ノ木沢放牧場完成。▶(4) 役場に課制実施。▶(9) 選挙管理委員長に小笠武一就任。▶(9) 台風により蔵小大破。▶(9) 下中増築工事完成。▶(11) 第一回村功労者表彰実施。▶(11) 回村功労者表彰実施。▶(11) 両前寺橋・高瀬川橋の永久橋完成。

【昭和37年】

▶(3) 老方・沼館線県道認定。▶(4) 住吉小給食開始。▶(4) 村商工会発足。▶(7) 黒淵診療所開設。▶(10) 教育長に小松雄治郎就任。▶(11) 下中増築工事完成。▶(12) 酪農5カ年計画達成祝賀式挙行。▶(12) 玉中増築工事完成。

【昭和38年】

▶(3) 収入役に佐藤玉治就任。▶(4) 玉小給食開始。▶(4) 八塩ダム完成、放水開始。▶(4) 村火葬場開設。▶(8) 村長に阿部直一郎当選(無競争)。▶(10) 舟木橋完成。▶(11) 矢島信用金庫東由利支店開店。

【昭和39年】

▶(3) 村婦人会発足。▶(4) 老方・中央・下郷三農協合併東由利農協発足。▶(7) 村議会議長に佐藤与吉郎就任。▶(9) 第一回町民大会開催。

【昭和40年】

▶(2) 東由利農協本所事務所完成。▶(12) 西久保橋完成。

【昭和41年】

▶(1) 八塩ダムに桜植樹。

【昭和42年】

▶(5) 商工・森林・共済三団体事務室完成。▶(7) 村長に小松栄男当選。▶(7) 初ら農業空中散布実施。▶(8) 寺田橋永久橋完成。▶(9) 上里永久橋完成。▶(10) 教育長に佐々木君三就任。▶(10) 阿部直一郎県農業会議副会長に就任。

【昭和43年】

▶(3) 助役に伊東利雄就任。▶(4) 公民館長に阿部直一郎就任。▶(5) 島部落で十二棟焼失の大火発生。▶(7) 村議会議長に長沢毅就任。▶(9) 本荘高校下郷分校新築に着手。▶(10) 教育委員長に佐藤松之助就任。▶(11) 須郷田橋、沖田橋永久橋完成。

【昭和44年】

▶(4) 林業構造改善事業に着手。▶(4) 下郷・玉米両中学校名目統合。▶(7) 統合東由利中建築着工。▶(8) 住小会場に移動県庁開設。▶(9) 石田坂橋永久橋完成。▶(11) 黒淵大橋永久橋完成。

【昭和45年】

▶(5) 米の生産調整始まる。▶(9) 本荘由利広域市町村圏組合発足。▶(9) 農業委員長に遠藤孫助就任。▶(9) 誘致工場(坂爪)操業開始。▶(11) 除雪車購入。▶(11) 本荘高校下郷分校新校舎全容完成。▶(11) 智者鶴橋永久橋完成。▶(12) 川原田橋永久橋完成。

【昭和46年】

▶(3) 玉米・東由利両農協合併調印。▶(4) 統合中新校舎で授業開始。▶(5) 村章決定。▶(7) 村長に小松栄男当選(無競争)。▶(10) 東由利簡易水道布設工事に着手。▶(10) 統合中の全容完成。▶(10) 土場沢林道開設着工。▶(12) 老方バイパス完成。

【昭和47年】

▶(3) 丸山橋永久橋完成。▶(4) 助役に小松民三郎就任。▶(4) 公民館長に佐々木君三就任。▶(7) 村議会議長に長沢毅就任。▶(10) 広域消防分署完成業務開始。▶(10) 除雪車購入。▶(12) 田代福祉館完成。

【昭和48年】

▶(2) 向田橋・牡丹野橋永久橋完成。▶(4) 広域ゴミ収集業務開始。▶(6) 消防団機構改革実施、団長に佐藤力就任。▶(6) 東由利水道完成。▶(8) 松沢橋永久橋完成。▶(9) 大台分校新築完成。▶(10) 除雪車購入。▶(11) 明通橋永久橋完成。

【昭和49年】

▶(2) 有史以来の豪雪記録。▶(4) 町制施行。▶(4) 蔵・法内小統合。▶(4) 公民館長に梅津嘉一郎就任。▶(6) 県営圃場整備事業着工。▶(9) 館合バイパス工事着工。▶(10) ローターリ除雪車購入。

【昭和50年】

▶(1) 台山線開設工事完成。▶(11) 館合水道改修に着手。

【昭和50年】

▶(2) 老人いこいの家完成。▶(3) 収入役に小野丹左工門就任。▶(3) 下小屋橋完成。▶(4) 本荘高校下郷分校全日制移行。▶(6) 電話自動化実施。▶(6) 福祉バス購入。

20周年を迎えた「東由利」



真新しい庁舎の看板をかける小松町長 町として歴史の第1歩を踏み出す

着実な発展への歩...

道路、橋梁「変容歴然」と

「道路状況」
「隔世の感」
国道一〇七号線を幹線動脈に、四通八達した道路網は年々改良整備の手が加えられ、町民生活の向上、産業の振興に大きく貢献して来ています。国道及びバス路線の全面舗装、バイパスの開通、県道の主要地方道昇格と改良促進、幅員補装の法内線を始め土場沢・牧山等林道網の開設整備、町道、台山線、石高農道、蔵上里線の町道舗装など町須野田新田線等の町道舗装など町

除雪態勢

内道路の整備改良状況を見事に合併時とはまさに隔世の感がします。こうした建設の手は一日も休むことなく、日々未来へ引き継がれてゆきます。

機械八倍に

山紫水明の郷土の発展を阻害して来た豪雪。その克服のために合併当時一台に過ぎなかつた除雪車を四十年代後半から年ごとに増え、現在町有六台、県貸与二台と八倍にして冬期における町民の足を確保、さらに本年度も増強を予定、克服への万全の体制を整えつつあります。

姿を消す木橋

道路網の整備とともに町内の木橋はあと数橋で皆無となるほど整備が進みまし。石沢川に架かる木橋は一橋、その他の支流に架かる橋も主要橋はほとんどが永久橋にか



部落健康相談などで町民の保健衛生は著しく向上

「国民健康保険」の導入。保健婦の採用を始め、大規模水道の布設、ゴミ収集業務の開始など町民の保健衛生・民生等、顕著な福祉の向上には目を見張るものがあります。



冬期交通は除雪車の活躍で心配がなくなった。

保、さらに本年度も増強を予定、克服への万全の体制を整えつつあります。なお、ほかに緊急出動に備えて雪上車の貸与をうけているほか、冬期交通確保の観点からもなる雪管理センターの建設など町民の英知を結集して豪雪への対応策も練られ、大きな進歩を見せています。

教育の場年々充実

中学校の統合、蔵・法内小の統合など町民の熱意と理解が教育環境を大きく前進させたほか、老人いこいの家、福祉館など社会教育の場も年々充実して来ています。



旧木橋とはあまりにも対照的な永久橋(明通橋)

環境、内容とも抜群の統合中学校舎

たくましく建設のつち音

合併から一時的遅滞もなげ、伸長発展一途に歩を進めて来た町勢の歩みは、今後より加速をつけて二十一年目の未来を開拓して行くものと思われま。大規模な県営圃場整備事業による生産基盤の整備、産業の振興、自然と調和を求めうるおの場となるいこいの森の造成、社会教育の中核と見られています。

来未へつながらる永久建築の基礎杭うち

なる公民館の建設など二十一年目に承継される事業の一つ一つからは、今後も途絶えることなくたくましい建設のつち音が響き、新たな飛躍への踏み台になると見られています。

【昭和43年】

▶(3) 助役に伊東利雄就任。▶(4) 公民館長に阿部直一郎就任。▶(5) 島部落で十二棟焼失の大火発生。▶(7) 村議会議長に長沢毅就任。▶(9) 本荘高校下郷分校新築に着手。▶(10) 教育委員長に佐藤松之助就任。▶(11) 須郷田橋、沖田橋永久橋完成。

【昭和44年】

▶(4) 林業構造改善事業に着手。▶(4) 下郷・玉米両中学校名目統合。▶(7) 統合東由利中建築着工。▶(8) 住小会場に移動県庁開設。▶(9) 石田坂橋永久橋完成。▶(11) 黒淵大橋永久橋完成。

【昭和45年】

▶(5) 米の生産調整始まる。▶(9) 本荘由利広域市町村圏組合発足。▶(9) 農業委員長に遠藤孫助就任。▶(9) 誘致工場(坂爪)操業開始。▶(11) 除雪車購入。▶(11) 本荘高校下郷分校新校舎全容完成。▶(11) 智者鶴橋永久橋完成。▶(12) 川原田橋永久橋完成。

【昭和46年】

▶(3) 玉米・東由利両農協合併調印。▶(4) 統合中新校舎で授業開始。▶(5) 村章決定。▶(7) 村長に小松栄男当選(無競争)。▶(10) 東由利簡易水道布設工事に着手。▶(10) 統合中の全容完成。▶(10) 土場沢林道開設着工。▶(12) 老方バイパス完成。

【昭和47年】

▶(3) 丸山橋永久橋完成。▶(4) 助役に小松民三郎就任。▶(4) 公民館長に佐々木君三就任。▶(7) 村議会議長に長沢毅就任。▶(10) 広域消防分署完成業務開始。▶(10) 除雪車購入。▶(12) 田代福祉館完成。

【昭和48年】

▶(2) 向田橋・牡丹野橋永久橋完成。▶(4) 広域ゴミ収集業務開始。▶(6) 消防団機構改革実施、団長に佐藤力就任。▶(6) 東由利水道完成。▶(8) 松沢橋永久橋完成。▶(9) 大台分校新築完成。▶(10) 除雪車購入。▶(11) 明通橋永久橋完成。

【昭和49年】

▶(2) 有史以来の豪雪記録。▶(4) 町制施行。▶(4) 蔵・法内小統合。▶(4) 公民館長に梅津嘉一郎就任。▶(6) 県営圃場整備事業着工。▶(9) 館合バイパス工事着工。▶(10) ローターリ除雪車購入。

【昭和50年】

▶(1) 台山線開設工事完成。▶(11) 館合水道改修に着手。



ノボリを立て応援する父母の会員たち

東中健児 西に東に大活躍

東中野球部が大曲市教育委員会主催の第九回全県選抜中学校野球大会(大曲市)で並い強豪を下して準優勝の快挙、一方本荘市で開催された本荘市由利郡小中学校陸上競技大会では女子四百メートルのチームが前年に引続いて優勝するなど東中に西に東に健児のめざましい活躍が展開され町民の間からは「統合の成果が表れ出した」という声も聞かれるなど関係者を喜ばせています。(東中野球部特集)



1点に無念の涙をのんだものの、チームワークと健闘が高く称えられた東中野球部員

全県選抜 中学野球

光った闘志と粘り 大曲で堂々の準優勝

東中野球部の主力ナインは昨シーズン男鹿市主催の全県選抜中学新人野球大会への招待を受け、対外的な試合を経験していただけに今シーズン、川内(鳥海村)各中との親

わさされ、そうした思惑も手伝った緊迫した空気のなかで準決勝の幕があげられました。

先攻の大曲中をうけて立つ東中ナインの動きは、前日とはうってかわり、堅さが少しも感じられず精いっぱいプレーが展開されました。

エース高橋のピッチングにやや制球難が感じられるものの、各野手の動きは軽妙で初回表、まず強敵大曲中を無得点に抑えました。

この回の東中の攻撃状況を再現実ると、①四球出塁の嶽石、すかさず二盗に成功。②二番渡辺のバントが内野安打となつて無死一三塁。③三番中津川のピッチャーゴロで一死二三塁。④四番伊東がスクイズを決め先制の一点。ランナーはなおも一三塁。

⑤五番高橋再びスクイズに成功、二死ながら二点目。という結果でした。

以下、二点の攻防をめぐって四回まで白熱したゲームが展開され、同回表、曲中のタイムリーヒットで一点をかえ

されたからは、さらに緊迫したハラハラゲームに終始しました。

同大会実力ナンバー一といわれる大曲中だけに、二回以降は一点の追加点も許さないばかりか逆に点差を縮め、最終回表には拮据の反撃をかけて来ました。

必死の防戦を続ける東中はこの回、二死満塁で五番の強打者を迎えるという同ゲーム最大のピンチに立たされました。

準決勝進出という朗報に続々会場へつめかけた父母の会会員や東中OBの青年たちもピンチに立たされたマウンド上の高橋投手やナインの一挙一投足を祈るようなまなざしを、あれだけ

の快挙あげたにもかかわらず成田監督は淡々として「二点の守りに終始苦しんだ。不調の投手を援護しながらチーム全体がサイン通りによく動き、あれだけ

の練習の成果としかいえない」と、その健闘ぶりをたたえていました。

決戦最終回で最後の闘いを奮い合うナイン

根性出来て来たが、成田監督とともに指導に当たって来た田口第一教諭と

部員たちは、対外試合で決勝進出という統合以来の初の快挙をおくびにも出さず、さっそく翌日から七月三・四・五日の全県大会郡予戦を目ざりそこでの健闘に早くも大きな期待が寄せられています。

同大会の組み合わせもこのほど決まり、東中は第一試合で下川中対吉中の勝者と対戦することになっており町民から、ベストを尽くせと大きな激励が寄せられています。

東中野球部(中津川辰翁主持)は、六月十五日の両日、大曲市教育委員会主催の第九回全県中学校選抜野球大会に県内各ブロック代表の名門九校とともに招待を受け、緒戦・準決勝戦とも地元強豪を見事なチームワークで下し、初出場ながら堂々の決勝進出を果たしました。

決勝戦では、横手平鹿代表の十文字中に1-0で惜敗、準優勝に甘んじはしたものの、そのめざましい闘志と粘りの健闘ぶりに関係者を始め町民から大きな称賛の声があがっています。

こうした部員たちの活躍に刺激された父兄たちは、同校運動クラブでは初の「野球部父母の会」(長沼久男会長)を結成、激励のノボリを作るなどして側面から部員たちに支援を続けて来ました。

それだけに、今回の選抜大会には、日当三千五百円の作業員、五千五百円の木工の父兄たちまでが仕事を休んで応援にかけつけるなど、大変な熱の入れようでした。

以下、健闘し「由利に東中健児の闘闘ぶりを紹介してみましょう。

見事な瀬戸際のファイナルプレー

五番強打者への二球目、一千五百人の大観衆が見守る中で高橋の手から離れたボールは大きなスウィングと共に大きく弧を描いて三塁後方へウワンと球場全体をつつみ

して見つめ、声を限りに声援を続けていました。

日当三千五百円の仕事を休んでかけたという父母の会の一人は「これだけやれるとは予想もしなかった。実によくやった。破れて悔いなしです。これは統合中の成果が現れて来た何よりの証拠ではないか」と語り、別の一人は「父兄負担も色々多いが、二度とない青春の日を生涯の思い出として残せるよう徹底的に鍛え抜いてもらいたい」と述べ、わが子を含むナインの健闘ぶりを称えながら新たな期待を寄せ、またある一人の青年は「生徒がこれだけやっているのに、学校側から応援の先生の姿がないのはおかしい」と学校側へ「チョッピリ不満の声」を述べていました。

日当三千五百円の仕事を休んでかけたという父母の会の一人は「これだけやれるとは予想もしなかった。実によくやった。破れて悔いなしです。これは統合中の成果が現れて来た何よりの証拠ではないか」と語り、別の一人は「父兄負担も色々多いが、二度とない青春の日を生涯の思い出として残せるよう徹底的に鍛え抜いてもらいたい」と述べ、わが子を含むナインの健闘ぶりを称えながら新たな期待を寄せ、またある一人の青年は「生徒がこれだけやっているのに、学校側から応援の先生の姿がないのはおかしい」と学校側へ「チョッピリ不満の声」を述べていました。

日当三千五百円の仕事を休んでかけたという父母の会の一人は「これだけやれるとは予想もしなかった。実によくやった。破れて悔いなしです。これは統合中の成果が現れて来た何よりの証拠ではないか」と語り、別の一人は「父兄負担も色々多いが、二度とない青春の日を生涯の思い出として残せるよう徹底的に鍛え抜いてもらいたい」と述べ、わが子を含むナインの健闘ぶりを称えながら新たな期待を寄せ、またある一人の青年は「生徒がこれだけやっているのに、学校側から応援の先生の姿がないのはおかしい」と学校側へ「チョッピリ不満の声」を述べていました。

日当三千五百円の仕事を休んでかけたという父母の会の一人は「これだけやれるとは予想もしなかった。実によくやった。破れて悔いなしです。これは統合中の成果が現れて来た何よりの証拠ではないか」と語り、別の一人は「父兄負担も色々多いが、二度とない青春の日を生涯の思い出として残せるよう徹底的に鍛え抜いてもらいたい」と述べ、わが子を含むナインの健闘ぶりを称えながら新たな期待を寄せ、またある一人の青年は「生徒がこれだけやっているのに、学校側から応援の先生の姿がないのはおかしい」と学校側へ「チョッピリ不満の声」を述べていました。

日当三千五百円の仕事を休んでかけたという父母の会の一人は「これだけやれるとは予想もしなかった。実によくやった。破れて悔いなしです。これは統合中の成果が現れて来た何よりの証拠ではないか」と語り、別の一人は「父兄負担も色々多いが、二度とない青春の日を生涯の思い出として残せるよう徹底的に鍛え抜いてもらいたい」と述べ、わが子を含むナインの健闘ぶりを称えながら新たな期待を寄せ、またある一人の青年は「生徒がこれだけやっているのに、学校側から応援の先生の姿がないのはおかしい」と学校側へ「チョッピリ不満の声」を述べていました。

日当三千五百円の仕事を休んでかけたという父母の会の一人は「これだけやれるとは予想もしなかった。実によくやった。破れて悔いなしです。これは統合中の成果が現れて来た何よりの証拠ではないか」と語り、別の一人は「父兄負担も色々多いが、二度とない青春の日を生涯の思い出として残せるよう徹底的に鍛え抜いてもらいたい」と述べ、わが子を含むナインの健闘ぶりを称えながら新たな期待を寄せ、またある一人の青年は「生徒がこれだけやっているのに、学校側から応援の先生の姿がないのはおかしい」と学校側へ「チョッピリ不満の声」を述べていました。

日当三千五百円の仕事を休んでかけたという父母の会の一人は「これだけやれるとは予想もしなかった。実によくやった。破れて悔いなしです。これは統合中の成果が現れて来た何よりの証拠ではないか」と語り、別の一人は「父兄負担も色々多いが、二度とない青春の日を生涯の思い出として残せるよう徹底的に鍛え抜いてもらいたい」と述べ、わが子を含むナインの健闘ぶりを称えながら新たな期待を寄せ、またある一人の青年は「生徒がこれだけやっているのに、学校側から応援の先生の姿がないのはおかしい」と学校側へ「チョッピリ不満の声」を述べていました。

日当三千五百円の仕事を休んでかけたという父母の会の一人は「これだけやれるとは予想もしなかった。実によくやった。破れて悔いなしです。これは統合中の成果が現れて来た何よりの証拠ではないか」と語り、別の一人は「父兄負担も色々多いが、二度とない青春の日を生涯の思い出として残せるよう徹底的に鍛え抜いてもらいたい」と述べ、わが子を含むナインの健闘ぶりを称えながら新たな期待を寄せ、またある一人の青年は「生徒がこれだけやっているのに、学校側から応援の先生の姿がないのはおかしい」と学校側へ「チョッピリ不満の声」を述べていました。

日当三千五百円の仕事を休んでかけたという父母の会の一人は「これだけやれるとは予想もしなかった。実によくやった。破れて悔いなしです。これは統合中の成果が現れて来た何よりの証拠ではないか」と語り、別の一人は「父兄負担も色々多いが、二度とない青春の日を生涯の思い出として残せるよう徹底的に鍛え抜いてもらいたい」と述べ、わが子を含むナインの健闘ぶりを称えながら新たな期待を寄せ、またある一人の青年は「生徒がこれだけやっているのに、学校側から応援の先生の姿がないのはおかしい」と学校側へ「チョッピリ不満の声」を述べていました。



ベンチから指示を与える成田監督

役立った男鹿招得の経験

終始リードを保つ

(第1戦)

大曲西 0001000
東由利 0023001x 6 3

大会初日の十四日は、大曲市営球場で地元大曲西と対戦した。代表の大曲西中と対戦した。後攻の東由利中は、まず三回裏、一死ながら二三塁という絶好のチャンスを迎え、期待の渡辺がタイムリーなヒットを放って二点を先取しました。四回表、西中の猛反撃の前に二点を許し同点とされたものの、最終回を迎えました。

明暗、先制2点に

東中無失策で決勝進出

(第2戦)

大曲 0001000
東由利 2000000x 2

翌十六日は球場を大曲中におよび秋田代表の土崎中を下してベスト四入りした地元の大曲中との対戦は、当初から苦戦が予想されました。主会場であるだけに、前日とはうってかわり、両サイドには地元大曲中生など千五百人もの大観衆が詰めかけ、六十名に及ぶボランティア員を中心とした応援合戦も行われました。



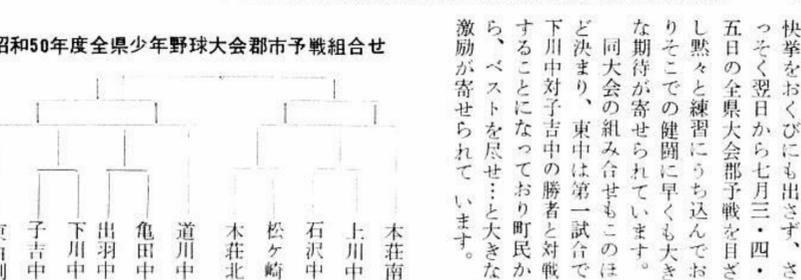
準優勝の授賞にのぞむ五厘刈の頭は関係者から好感をもたれた

好機生かせず1点に泣く

敢闘ぶりに高い評価

決勝戦は、雄和(河辺代表)と船川中(男鹿代表)を下してベスト四入りした結果、東中は三回裏に先制の二点を挙げ、最終回、先攻の東中が最後の反撃に出ました。しかし、三試合目という長い緊張の連続の中にふと顔を出したエラー、捕手のパスボールに重なったタイムリーな安打は一点の先取を許す結果になりました。六回は両軍とも無得点、最終回、先攻の東中が最後の反撃に出ました。

信賴あるチームに 夢かける成田監督 成田監督は今大会をふりかえり「投手本来の調子が出ず苦しい試合の連続であった。東中にはいい素質があり一度得た失わないという特質もあるが燃焼するまでに時間がかかる。辛い父兄を始め地元のご理解もあるので、持てる素質を最大限に引き出し、礼儀正しく、信賴されるチームに育ててみたい」と、無限に夢をふくらませています。



- 木荘南 上川中 石沢中 松ヶ崎 木荘北 道川中 亀田中 出羽中 下川中 子吉中 東由利

昭和50年度全県少年野球大会郡予戦組合せ